

# SOMPO円建て債券ファンド(限定追加型)

## 2026-03

愛称：円蔵2026-03

追加型投信／国内／債券



ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

- 本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は右記の委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には信託約款の主な内容が含まれておりますが、信託約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に掲載されております。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、右記の照会先までお問い合わせください。

**委託会社** ファンドの運用の指図を行う者**SOMPOアセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第351号

設立年月日：1986年2月25日

資本金：1,550百万円

運用する投資信託財産の合計純資産総額：2,403,950百万円  
(2025年11月末現在)**照会先**ホームページ：<https://www.sompo-am.co.jp/>

電話番号：0120-69-5432

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

**受託会社** ファンドの財産の保管及び管理を行う者**みずほ信託銀行株式会社**

商品分類		
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
追加型	国内	債券

属性区分		
投資対象資産	決算頻度	投資対象地域
債券(一般)	年1回	日本

※商品分類及び属性区分の定義につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページをご参照ください。  
(<https://www.toushin.or.jp/>)

- この投資信託説明書(交付目論見書)により行う「S O M P O円建て債券ファンド(限定追加型) 2026-03」の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2026年1月30日に関東財務局長に提出し、2026年2月15日にその効力が発生しております。
- 当ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認する手続きを行います。
- 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
- 投資信託説明書(請求目論見書)については、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、販売会社に投資信託説明書(請求目論見書)をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。



## ご投資家のみなさまへ

当ファンドは主として日本企業が発行する円建ての投資適格債を投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。

安定的な運用を望まれるご投資家のみなさまにご検討いただきたいファンドです。

S O M P O アセットマネジメント



# ファンドの目的・特色

## ● ファンドの目的

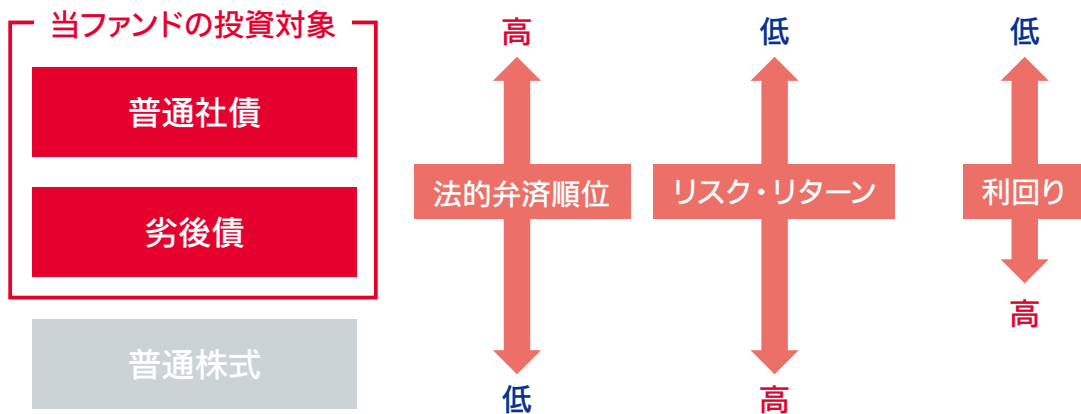
安定した収益の確保と信託財産の成長を目的とします。

## ● ファンドの特色

1

主として、日本企業が発行する円建て債券(劣後債等を含みます。)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。

<投資対象のイメージ>



上記は債券等の特性の一部を単純化して示したものであり、すべてのケースに当てはまるとは限りません。

### 劣後債とは

- ・ 債券(負債)と株式(資本)の双方の特徴をもち、資金調達のほか、発行体の自己資本比率向上などを目的に発行される債券です。
- ・ 法的弁済順位\*が普通社債より劣後するため、発行体の経営状況が悪化した場合、劣後債の価格は普通社債よりも大きく下落しやすい特性があります。一方で、同じ発行体の普通社債に比べて、相対的に高い利回りが期待できるという側面もあります。

※法的弁済順位とは、発行体が破綻等となった場合において、債権者等に対する残余財産の弁済順位をいい、弁済順位の高いものから弁済されます。

- 原則として、取得時において信託期間内に満期償還または繰上償還が見込まれる債券に投資し、償還日まで保有することを基本方針とします。

ただし、運用者の判断により、満期償還日前または繰上償還日前に保有債券を売却する場合があります。

## ファンドの目的・特色

- 保有債券が信託期間中に満期償還される場合、繰上償還される場合、または償還日前に売却される場合には、信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる別の債券に投資する場合があります。
- 債券の組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、信託期間の終了が近づくにつれ、コールローン等の短期金融商品への組入比率が高まる場合があります。

2

債券への投資にあたっては、取得時においてBBB格相当以上（BBB-も含みます。）の信用格付<sup>※</sup>もしくはそれらと同等の信用力を有すると判断される債券（投資適格債）を投資対象とします。

※格付は外部の複数の格付会社が付与する格付のうち、最高格付を採用します。

3

円建て資産のみに投資するため、為替変動リスクはありません。

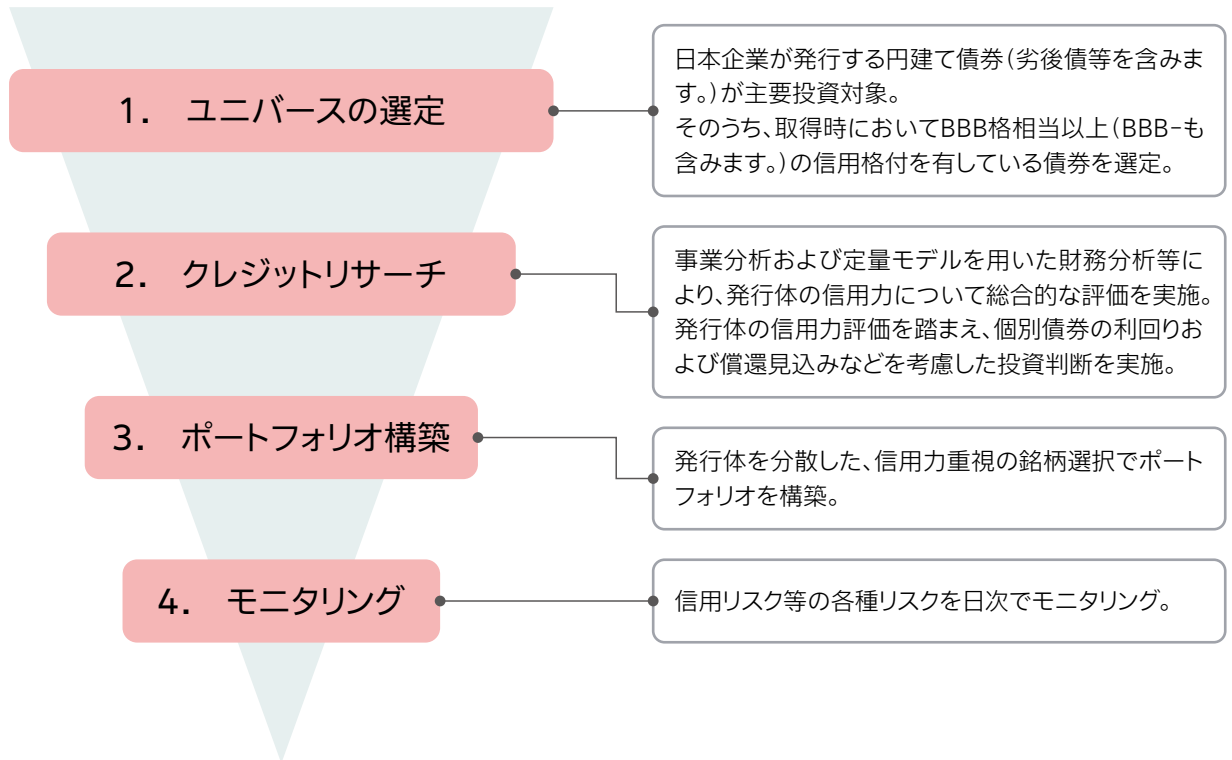
4

当ファンドは限定追加型です。

購入のお申込みは2026年3月31日までの間に限定して受け付けます。

# ファンドの目的・特色

## ＜運用プロセス＞



資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# ファンドの目的・特色

## 主な投資制限

- 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- 外貨建資産への投資は行いません。
- 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

## 分配方針

毎決算時(原則として3月25日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。



# 投資リスク

## ● 基準価額の変動要因

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属いたします。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

<input checked="" type="checkbox"/> 価格変動リスク	債券の価格は、国内外の政治・経済情勢、金融政策等の影響を受けて変動します。一般に、金利が上昇すると、債券の価格は下落します。組入れている債券の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 なお、劣後債は、発行体の経営状況等が著しく悪化した場合、基準価額が一般の社債よりも大きく下落する可能性があります。
<input checked="" type="checkbox"/> 信用リスク	債券の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている債券の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 また、発行体の倒産や債務不履行等の場合は、債券の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。
<input checked="" type="checkbox"/> 流動性リスク	国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。



# 投資リスク

## ☑ 劣後債への投資に伴う固有のリスク

### ● 弁済順位について

劣後債は、一般的に法的な債務弁済順位は株式に優先し、普通社債より劣後します。発行体の倒産や債務不履行があった場合、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません。また、発行体の倒産や国有化などの場合には、劣後債の価値が大きく下落すること、または価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

### ● 繰上償還について

劣後債には、繰上償還条項が設定されているものもあります。発行体の著しい業績悪化、市況動向等により繰上償還が実施されない場合や、繰上償還されないと見込まれる場合には、劣後債の価格が大きく下落することがあります。

### ● 利息の支払いについて

劣後債に利息の支払い繰延条項がある場合、発行体の著しい業績悪化等により、利息の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。

### ● 元本の削減等について

実質破綻時損失吸収条項が付されている場合、この条項のついた劣後債の発行体の実質的に経営破たんした時には、たとえ劣後事由（一般的に、破産法の適用・会社更生法の適用・民事再生法の適用等を指します。）が生じていなくても元本の削減等が行われます。

### ● 制度変更等に関わるリスク

将来、劣後債にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

## ● その他の留意点

- クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の

# 投資リスク

水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

- 当ファンドが設定当初に投資した債券が、信託期間中に満期償還される場合、繰上償還される場合、または償還日前に売却される場合には、信託期間内に償還を迎える別の債券に再投資をする場合があります。これらの場合、再投資する債券は設定当初に投資した債券に比べ、利回りが低い可能性があります。

## リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に対する取組方針に基づき、運用担当部から独立した部署及び社内委員会において運用に関する各種リスク管理を行います。

また、委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策等を策定しています。流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢については、担当役員が監督し、管理状況およびその有効性等については、定期的に社内委員会に報告されます。

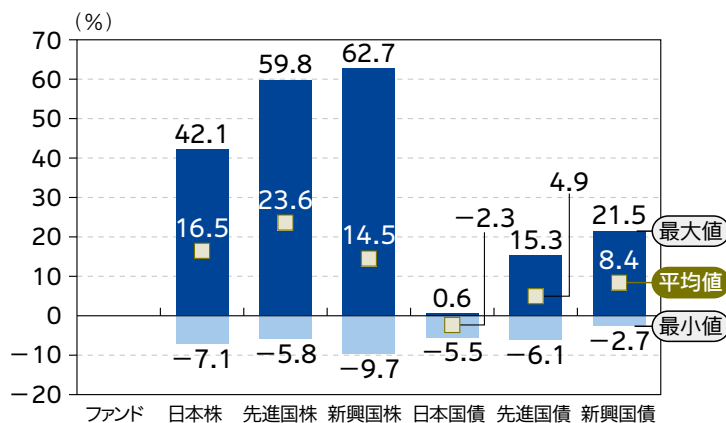
# 投資リスク

## 参考情報

### ファンドの年間騰落率及び 分配金再投資基準価額の推移

ファンドは、2026年3月23日から運用を開始する予定であり、記載すべき該当事項はありません。

### ファンドと他の代表的な資産クラスとの 騰落率の比較



ファンド : 2026年3月23日から運用を開始する予定であり、記載すべき該当事項はありません。  
代表的な資産クラス: 2020年12月～2025年11月

●「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

### 代表的な資産クラスの指数

日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバースファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

# 運用実績

ファンドは、2026年3月23日から運用を開始する予定であり、以下に記載すべき該当事項はありません。

基準価額・純資産の推移

分配の推移

主要な資産の状況

年間収益率の推移

ファンドにはベンチマークはありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示される予定です。

# 手 続 ・ 手 数 料 等

## ● お申込みメモ

購 入 時	
購入の申込期間	<p>当初申込期間 2026年2月16日から2026年3月19日まで</p> <p>継続申込期間 2026年3月23日から2026年3月31日まで</p> <p>※2026年4月1日以降のお申込みは受け付けません。</p>
購 入 単 位	<p>販売会社が定める単位</p> <p>※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。</p>
購 入 価 額	<p>当初申込期間 1口あたり1円</p> <p>継続申込期間 購入申込受付日の基準価額</p>
購 入 代 金	販売会社が定める日までにお支払いください。

換 金 時	
換 金 単 位	<p>販売会社が定める単位</p> <p>※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。</p>
換 金 価 額	換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換 金 代 金	<p>換金請求受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。</p> <p>有価証券の売却や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。</p>

申 込 に つ い て	
申 込 締 切 時 間	<p>原則として、午後3時までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。</p> <p>※受付時間は販売会社により異なる場合があります。詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。</p>
換 金 制 限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 の 中 止 及 び 取 消 し	<p>以下の事態※が発生したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。</p> <p>※購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、取引所における取引の停止、取引市場における流動性が極端に低下した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、その他やむを得ない事情があると判断したとき</p>

# 手 続 ・ 手 数 料 等

決 算 ・ 分 配	
決 算 日	原則、3月25日(休業日の場合は翌営業日) ※初回決算日は、2027年3月25日です。
収 益 分 配	毎決算時(年1回)、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。 販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。 各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。
そ の 他	
信 託 期 間	2031年3月25日まで(設定日 2026年3月23日) ※委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰 上 償 還	次のいずれかの場合には、繰上償還させることがあります。 ・ 受益権の残存口数が15億口を下回っているとき ・ 繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき ・ やむを得ない事情が発生したとき
信託金の限度額	300億円
公 告	委託会社のホームページ( <a href="https://www.sompo-am.co.jp/">https://www.sompo-am.co.jp/</a> )に掲載します。
運 用 報 告 書	原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課 税 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課税上は株式投資信託として取扱われます。</li> <li>● 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となりますが、当ファンドはNISAの対象ではありません。</li> <li>● 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。</li> </ul>

# 手 続 ・ 手 数 料 等

## ● ファンドの費用・税金

### ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料

購入価額に1.65% (税抜1.5%) を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価になります。  
※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。

信託財産留保額

換金請求受付日の基準価額に0.3% を乗じた額です。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用  
(信託報酬)

ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.627% (税抜0.57%) を乗じた額です。運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。

支払先	配分(税抜)	対価として提供する役務の内容
委託会社	年率0.25%	ファンドの運用の対価
販売会社	年率0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価

その他の費用・  
手数料

以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。

・ 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用

・ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料

・ 信託財産に関する租税 等

※上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

● 当該手数料等の合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。



# 手 続 ・ 手 数 料 等

## 税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の対象ではありません。

※法人の場合は上記とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は2025年11月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。